

古河市SDGsパートナー宣言書

団体名・企業名 小沢道路株式会社

代表者職・氏名 代表取締役社長 小澤 勲

次のとおり古河市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します

1：目指しているSDGsのゴール（または今後目指すゴール）【複数選択可】

					
					
					
					※該当するゴールに○を記入してください
					

2：SDGsへの貢献に向けた組織を代表するビジョン・団体の方針

当社 企業理念「あおいうみ あおいそら BLUE EARTH」に基づき環境保全を推進し、法令、規則、協定を遵守し事業活動を通じ社会貢献に取り組むことで、SDGsの達成に貢献します

3：SDGsへの貢献や、持続可能な都市の実現に向けて行っていること

古河市や他の団体と連携可能な項目【複数選択可】

※該当するものにチェックをしてください。

☒ ボランティア

☒ 研修会・講演会の実施

☐ 知識・技術の提供

☐ 実証事業の実施

☐ イベント開催

☒ 寄付金・商品等の提供

☐ その他（

）

SDGs に関する取組を表す写真等の画像データ

パートナーシップ構築宣言（小沢道路）.pdf

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とするよう努めます。

③知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドラインや契約書のひな形に基づいて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他

（1）企業理念

- ① 小沢道路グループは社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献致します。

- ② 小沢道路の取り巻くステークホルダーを明確にし、ニーズと期待に応じられる様にトップマネジメントの責任において、顧客重視という視点から意図する成果を得られる様に顧客満足に貢献します。
- ③ 全社員に礼儀正しい態度で取引を行う様、社員教育の徹底を図ります。

2023年10月4日

小沢道路株式会社

代表取締役社長 小澤 勲